

事業主体名		名護市					
令和3年度沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート							
事業名	「やんばるの自然」関連施設整備事業(ネオパークオキナワ周辺地域)		担当課名	地域経済部 観光課			
			認定市町村名	-			
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	事業実施(予定)年度			
	<input type="checkbox"/>	先導性要件			<input type="checkbox"/>	令和元年度～令和3年度	
事業内容	<p>「やんばるの自然」関連施設(ネオパーク・オキナワ)への周遊性の向上及び観光消費の拡大を図るため、以下の取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多言語案内板の設置 トイレの拡充(既設トイレの洋式化及び高機能化/トイレ手洗い場水道蛇口の非接触型化) 						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 当初予算額 増減額 予算現額 前年度から繰越 翌年度へ繰越 計		4,500	0	18,000		
			0	0	0		
			4,500	0	18,000		
			0	4,500	0		
			4,500	0	0		
			0	4,500	18,000		
		執行済額	0	3,608	16,545		
		うち補助金充当額	0	2,886	13,236		
		不用額	0	892	1,455		
		執行率(%) (B/A)	-	80.2%	91.9%		
	予算の状況の説明	当初の計画どおりトイレの拡充を行い、事業は適正に執行できた。 不用額については、工事の入札減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度		
	多言語案内板の設置件数	目標	(1)	(-)	(-)	()	
		実績	1	-	-		
トイレの拡充場所	目標	(-)	(-)	(7)	()		
	実績	-	-	7			
達成状況説明	○実施設計に基づき、7か所のトイレ拡充工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(H30年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	ネオパーク・オキナワの来訪者数	目標	(-)	()	()	()	(221,000)
		実績	183,879	217,662	93,045	145,028	175,353
	成果目標(指標)		基準値(H30年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	ネオパーク・オキナワの消費額	目標	(-)	()	()	()	(191,000,000)
		実績	147,451,103	212,006,816	98,857,483	167,787,477	200,053,409
進捗状況説明	○新型コロナウイルスの影響により、令和4年度の来訪者数は目標値を下回った。 ○しかし、消費額については、令和4年度の目標値を上回ることができた。						

成果目標に対する原因・要因分析		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>○新型コロナウイルスの影響により、施設の来訪者数は大幅に落ち込んでいたものの、同施設の消費額については、目標値を達成している。</p> <p>○その要因として、本事業による取り組みに加えて、指定管理者による新たな料金体制(入場料と体験料がセットになったプランなど)の導入や新型コロナウイルス対策による地域クーポンの活用等によって、来場者の消費単価が増加したことが考えられる。</p>	<p>○ウィズコロナ及びアフターコロナを見据えて、観光需要に対応した更なる受入体制の充実を図る。</p> <p>○滞在時間の延長や来場者の満足度向上に向けた取り組みが必要。</p> <p>○同施設の更なる魅力を周知する必要。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>○受入体制を充実させ、指定管理者と連携を図ることで、施設を訪れた観光客の満足度向上、来訪者数の増加につなげる。</p> <p>○来訪者に対して、アンケート調査を実施することにより、満足度やニーズの把握に努める。</p> <p>○指定管理者と連携し、更なる施設のPRIに努める。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
16,545	16,545	13,236	3,309	0
<pre> graph LR A[名護市 16,545千円] --> B[工事費 16,060千円] A --> C[委託費 485千円] B --> D[有限会社 嶺井工業 16,060千円] C --> E[株式会社 真建 485千円] D --- F[ネオパーク・オキナワトイレ拡充設備工事] E --- G[ネオパーク・オキナワトイレ拡充設備工事監理業務] </pre>				

評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	工事業者は公募型指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、実施設計により予算編成を行った。また、不用額は事業費の8.1%であり適正な規模であった。
—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。